

## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：保育施設における2021年度の新型コロナウイルス対策を学ぼう
2. 事業種別：共催
3. 申請者：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学地域災害弱者対策研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月15日（金） 13:00～15:00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）  
／愛知県立大学長久手キャンパス K棟 小ホール
7. 講師：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
8. 参加者数：112名（一般）（オンライン：102名 会場：10名）

【講座の様子】



【チラシ】

**愛知県立大学 地域連携事業**

**公開講座「保育施設における2021年度の新型コロナウイルス対策を学ぼう」**

新型コロナウイルスの感染拡大開始から1年が過ぎましたが、その解決は見えてきません。2021年度においても、秋から冬にかけて季節性の感染拡大が発生することが懸念されます。保育施設は三密（密着、密集、密閉）を避けることが困難でクラスターが発生しやすい環境にありますが、業務停止が社会に与える影響が極めて大きいこと、感染の発生と個人の防止対策が重要で、本講座では、2020年度の経験を踏まえて、2021年秋～冬の感染拡大に備える方法を学びます。




【ご案内】  
新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、開催方法をオンラインのみに変更する可能性があります。  
最新の情報については、地域連携センターWebサイトをご確認ください。

**日時** 2021年10月15日(金) 13:00～15:30  
**場所** 愛知県立大学長久手キャンパス小ホール（会場定員40名）  
 ／オンライン（Zoom）  
**講師** 清水 宣明 教授（愛知県立大学看護学部） **参加費無料**

**地域連携センターWEBサイト** 申し込みはこちら  


■ 申込方法：いずれかの方法で申し込みください。  
 ① 電話での申込（申込受付のみです。）  
 ② 愛知県立大学地域連携センターWebサイトから申し込み  
 URL: <http://www.wlsc.or.jp/ocd/renseki/>  
 365番QRコードからアクセス可能  
 ③ FAX「感染症対策の新型コロナウイルス対策講座」、「災害（自然災害）」、「福祉」等に「FAX番号」を記載し、0661-454-1104 宛てにFAXしてください。

【問い合わせ】  
 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課  
 〒480-1198 愛知県長久手市袋井1522番3  
 メール: [renkei@tur.aichitsu.ac.jp](mailto:renkei@tur.aichitsu.ac.jp)  
 主催：愛知県立大学  
 （地域災害弱者対策研究所・地域連携センター）



【講座の様子】



## 令和3年度 豊田市公開講座 実施結果

1. 事業名称：保育施設の災害対策・新型コロナウイルス感染対策
2. 事業種別：共催
3. 申請者：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
4. 共催：豊田市、愛知県立大学地域災害弱者対策研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月16日（土） 13:00～15:00
6. 会場：豊田市 崇化館交流館 第2会議室
7. 講師：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
8. 参加者数：8名（一般）

### 【概要】

令和3年9月18日に予定していた第1回講座は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止としたため、令和3年10月18日の第2回講座では、第1回の内容を含めて開催した。

### 【講座の様子】



### 【チラシ】

**愛知県立大学**  
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知県立大学の教員が豊田市にて  
公開講座を開催いたします！

**【全2回】保育施設の災害対策・  
新型コロナウイルス感染対策**

講師：愛知県立大学看護学部 清水 宣明 教授

|       |   |              |
|-------|---|--------------|
| 講座内容  | ①災害が発生したときに陥り立場に立たされる保育現場（保育室、幼稚園、こども園等）の対策について、その考え方や実践例を説明します。<br>②保育施設における新型コロナウイルスの感染防止対策について、その実践的な知識と考え方、実践の方法について解説します。  |              |
| 開催日時  | ①2021年9月18日（土） 13時00分～15時00分<br>②2021年10月16日（土） 13時00分～15時30分   | （要予約） 12時30分 |
| 参加人数  | 各回40人（申込必須・先着順）※①②どちらかの参加も可   |              |
| 受講料   | 無料  |              |
| 開催場所  | 豊田市 崇化館交流館 第2会議室<br>〒471-0078 愛知県豊田市昭和町2-46 1a   TEL: 0565-33-0750  |              |
| 申込方法  | 愛知県立大学地域連携センターホームページ（以下QRコード、<br><a href="https://www.burachii-pu.ac.jp/renkei/">https://www.burachii-pu.ac.jp/renkei/</a> ）専用WEBサイトより申込み<br>※FAXでも可。申込名「豊田市の災害対策・新型コロナウイルス感染対策」、氏名<br>（印のみ）、電話番号、FAX番号を明記のうえ、<br>FAX番号（0561-64-1104）までお送りください。 |              |
| 申込締切日 | ①2021年9月17日（金）午後9時<br>②2021年10月15日（金）午後9時   |              |

ご参加お待ちしております。

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課  
Tel: 0561-76-9843 F: 9: renkei@burachii-pu.ac.jp

【ご案内（重要）】

- 講座に参加される方は、マスクの着用・手洗いの徹底にご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、開催を延期または中止する可能性がございます。

最新の状況については、[地域連携センターWebサイト](https://www.burachii-pu.ac.jp/renkei/)をご確認ください。

愛知県立大学地域連携センターWebサイト： <https://www.burachii-pu.ac.jp/renkei/>

### 【講座の様子】



## 令和3年度 豊田市公開講座 実施結果

1. 事業名称：とっさの英会話、とっさの異文化マナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
4. 共催：豊田市、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月24日（日） 10：00～12：00
6. 会場：豊田市 保見交流館
7. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
8. 参加者数：10名（一般）

### 【概要】


英語と異文化交流に関心がある一般市民を対象に、「英会話と異文化マナー」の講習を実施した。外国人と接する「とっさの状況」で、どのような英語を使い、反応したら良いかについての講義と、ペアワーク、ラップ、ゲームなどのアクティビティを行った。

毎年実施しているためか、開催前から一部の参加者から楽しみだと連絡があった。また、リピーターが全体の3割いた。

### 【講座の様子】



### 【チラシ】



**愛知県立大学**  
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知県立大学の教員が豊田市にて  
公開講座を開催いたします！

## とっさの英会話、とっさの異文化マナー


講師：愛知県立大学外国語学部 秋田 貴美子 准教授

|       |   |                               |
|-------|---|-------------------------------|
| 講座内容  | とっさの時に使う英会話と異文化マナーを学習します。便利で簡単な英語表現、失礼、外国人と交際する際の正しいマナーなどを、日本の文化と比較しながら学びます。  |                               |
| 開催日時  | 2021年8月29日（日）   | 10時00分～12時00分<br>（受付開始 9時30分） |
| 募集人数  | 20人（対象は20歳以上・申込先着順）   |                               |
| 受講料   | 無料  |                               |
| 開催場所  | 豊田市保見交流館 2階 大会議室<br>〒470-0344<br>愛知県豊田市保見町西反田 121-1 Tel: 0565-48-3403   |                               |
| 申込方法  | 愛知県立大学地域連携センターホームページ（以下QRコード）<br><a href="http://www.buraichi-pu.ac.jp/renkei/">http://www.buraichi-pu.ac.jp/renkei/</a> 専用WEBサイトより申込み<br>※FAXでも可。企画名「とっさの英会話、とっさの異文化マナー」、氏名（ふりがな）、電話番号、FAX番号を明記のうえ、<br>FAX番号（0561-64-1104）までお送りください。 |                               |
| 申込締切日 | 2020年8月27日（金）午前9時   |                               |

**ご応募お待ち申し上げております。**

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課  
Tel: 0561-76-8843 ｻﾞﾙ: [renkei@buraichi-pu.ac.jp](mailto:renkei@buraichi-pu.ac.jp)

【ご案内（重要）】  
●感染に参加される方は、マスクの着用・手洗いの消毒にご協力をお願いします。  
●新型コロナウイルス感染症拡大が状況に応じて、開催を延期または中止する可能性がございます。最新の状態については、地域連携センターWebサイトを確認ください。  
愛知県立大学地域連携センターWebサイト：  
<http://www.buraichi-pu.ac.jp/renkei/>



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：世界展開する海外日本研究者に学ぶ 東アジアにおける知の伝播のあり方  
－漢籍の受容から考える－
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月27日（水） 14：00～17：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：曹 景恵 氏（国立台湾大学文学院日本語文学系所 副教授）
8. コメント：斎藤 夏来 氏（名古屋大学人文学研究科 教授）  
上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部 教授）
9. 参加者数：180名（一般・学生）

### 【概要】

学長挨拶で、カノンとして西洋にはラテン語書籍、アジアには漢籍があるという本講演の世界的な位置づけがなされた後、台湾大学と結んで曹先生の講演を実施した。講演内容は老子の注釈書が日本文学（徒然草、沙石集）や中世神道書にいかに関与を与えたかというもので、上川先生と斎藤先生から漢籍の影響が一般の人や武家にもあった例が示された後、聴講者との活発な質疑応答が行われた。学部長挨拶で近世の例も披露され、全体に充実した講演会となった。

### 【チラシ】

愛知県立大学国際センター  
「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」

# 東アジアにおける知の伝播のあり方

－漢籍の受容から考える－

【日時】 2021年10月27日（水）  
14:00-17:00 オンライン開催 (Zoom)

【講師】 **曹 景恵** ソウ ケイエイ  
（国立台湾大学  
文学院日本語文学系所 副教授）

【コメント】 斎藤 夏来（名古屋大学人文学研究科教授）  
上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部教授）

【参加方法】 本学は地域連携センターウェブサイト（<http://www.cslu.ac.jp/ai-cslu/>）  
にアクセスし「世界展開する海外日本研究者」より2021年10月27日  
のイベントに参加申し込みください。

【お問い合わせ先】  
愛知県立大学国際センター  
〒466-8601 愛知県立大学 津島キャンパス  
〒466-8602 愛知県立大学 豊田キャンパス  
〒466-8603 愛知県立大学 刈谷キャンパス  
〒466-8604 愛知県立大学 岡崎キャンパス  
〒466-8605 愛知県立大学 豊橋キャンパス  
〒466-8606 愛知県立大学 豊田西キャンパス  
〒466-8607 愛知県立大学 豊田東キャンパス  
〒466-8608 愛知県立大学 豊田南キャンパス  
〒466-8609 愛知県立大学 豊田北キャンパス  
〒466-8610 愛知県立大学 豊田南西キャンパス  
〒466-8611 愛知県立大学 豊田南東キャンパス  
〒466-8612 愛知県立大学 豊田北東キャンパス  
〒466-8613 愛知県立大学 豊田北西キャンパス  
〒466-8614 愛知県立大学 豊田南西東キャンパス  
〒466-8615 愛知県立大学 豊田南西西キャンパス  
〒466-8616 愛知県立大学 豊田南東東キャンパス  
〒466-8617 愛知県立大学 豊田南東西キャンパス  
〒466-8618 愛知県立大学 豊田北東東キャンパス  
〒466-8619 愛知県立大学 豊田北東西キャンパス  
〒466-8620 愛知県立大学 豊田北西東キャンパス  
〒466-8621 愛知県立大学 豊田北西西キャンパス  
〒466-8622 愛知県立大学 豊田南西東東キャンパス  
〒466-8623 愛知県立大学 豊田南西東西キャンパス  
〒466-8624 愛知県立大学 豊田南西西東キャンパス  
〒466-8625 愛知県立大学 豊田南西西西キャンパス  
〒466-8626 愛知県立大学 豊田南東東東キャンパス  
〒466-8627 愛知県立大学 豊田南東東西キャンパス  
〒466-8628 愛知県立大学 豊田南東西東キャンパス  
〒466-8629 愛知県立大学 豊田南東西西キャンパス  
〒466-8630 愛知県立大学 豊田北東東東キャンパス  
〒466-8631 愛知県立大学 豊田北東東西キャンパス  
〒466-8632 愛知県立大学 豊田北東西東キャンパス  
〒466-8633 愛知県立大学 豊田北東西西キャンパス  
〒466-8634 愛知県立大学 豊田北西東東キャンパス  
〒466-8635 愛知県立大学 豊田北西東西キャンパス  
〒466-8636 愛知県立大学 豊田北西西東キャンパス  
〒466-8637 愛知県立大学 豊田北西西西キャンパス  
〒466-8638 愛知県立大学 豊田南西東東東キャンパス  
〒466-8639 愛知県立大学 豊田南西東東西キャンパス  
〒466-8640 愛知県立大学 豊田南西東西東キャンパス  
〒466-8641 愛知県立大学 豊田南西東西西キャンパス  
〒466-8642 愛知県立大学 豊田南西西東東キャンパス  
〒466-8643 愛知県立大学 豊田南西西東西キャンパス  
〒466-8644 愛知県立大学 豊田南西西西東キャンパス  
〒466-8645 愛知県立大学 豊田南西西西西キャンパス  
〒466-8646 愛知県立大学 豊田南東東東東キャンパス  
〒466-8647 愛知県立大学 豊田南東東東西キャンパス  
〒466-8648 愛知県立大学 豊田南東東西東キャンパス  
〒466-8649 愛知県立大学 豊田南東東西西キャンパス  
〒466-8650 愛知県立大学 豊田南東西東東キャンパス  
〒466-8651 愛知県立大学 豊田南東西東西キャンパス  
〒466-8652 愛知県立大学 豊田南東西西東キャンパス  
〒466-8653 愛知県立大学 豊田南東西西西キャンパス  
〒466-8654 愛知県立大学 豊田北東東東東キャンパス  
〒466-8655 愛知県立大学 豊田北東東東西キャンパス  
〒466-8656 愛知県立大学 豊田北東東西東キャンパス  
〒466-8657 愛知県立大学 豊田北東東西西キャンパス  
〒466-8658 愛知県立大学 豊田北東西東東キャンパス  
〒466-8659 愛知県立大学 豊田北東西東西キャンパス  
〒466-8660 愛知県立大学 豊田北東西西東キャンパス  
〒466-8661 愛知県立大学 豊田北東西西西キャンパス  
〒466-8662 愛知県立大学 豊田北西東東東キャンパス  
〒466-8663 愛知県立大学 豊田北西東東西キャンパス  
〒466-8664 愛知県立大学 豊田北西東西東キャンパス  
〒466-8665 愛知県立大学 豊田北西東西西キャンパス  
〒466-8666 愛知県立大学 豊田北西西東東キャンパス  
〒466-8667 愛知県立大学 豊田北西西東西キャンパス  
〒466-8668 愛知県立大学 豊田北西西西東キャンパス  
〒466-8669 愛知県立大学 豊田北西西西西キャンパス  
〒466-8670 愛知県立大学 豊田南西東東東東キャンパス  
〒466-8671 愛知県立大学 豊田南西東東東西キャンパス  
〒466-8672 愛知県立大学 豊田南西東東西東キャンパス  
〒466-8673 愛知県立大学 豊田南西東東西西キャンパス  
〒466-8674 愛知県立大学 豊田南西東西東東キャンパス  
〒466-8675 愛知県立大学 豊田南西東西東西キャンパス  
〒466-8676 愛知県立大学 豊田南西東西西東キャンパス  
〒466-8677 愛知県立大学 豊田南西東西西西キャンパス  
〒466-8678 愛知県立大学 豊田南東東東東東キャンパス  
〒466-8679 愛知県立大学 豊田南東東東東西キャンパス  
〒466-8680 愛知県立大学 豊田南東東東西東キャンパス  
〒466-8681 愛知県立大学 豊田南東東東西西キャンパス  
〒466-8682 愛知県立大学 豊田南東東西東東キャンパス  
〒466-8683 愛知県立大学 豊田南東東西東西キャンパス  
〒466-8684 愛知県立大学 豊田南東東西西東キャンパス  
〒466-8685 愛知県立大学 豊田南東東西西西キャンパス  
〒466-8686 愛知県立大学 豊田北東東東東東キャンパス  
〒466-8687 愛知県立大学 豊田北東東東東西キャンパス  
〒466-8688 愛知県立大学 豊田北東東東西東キャンパス  
〒466-8689 愛知県立大学 豊田北東東東西西キャンパス  
〒466-8690 愛知県立大学 豊田北東東西東東キャンパス  
〒466-8691 愛知県立大学 豊田北東東西東西キャンパス  
〒466-8692 愛知県立大学 豊田北東東西西東キャンパス  
〒466-8693 愛知県立大学 豊田北東東西西西キャンパス  
〒466-8694 愛知県立大学 豊田北西東東東東キャンパス  
〒466-8695 愛知県立大学 豊田北西東東東西キャンパス  
〒466-8696 愛知県立大学 豊田北西東東西東キャンパス  
〒466-8697 愛知県立大学 豊田北西東東西西キャンパス  
〒466-8698 愛知県立大学 豊田北西東西東東キャンパス  
〒466-8699 愛知県立大学 豊田北西東西東西キャンパス  
〒466-8700 愛知県立大学 豊田北西東西西東キャンパス  
〒466-8701 愛知県立大学 豊田北西東西西西キャンパス

### 【講座の様子】



### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：愛知県立大学 発達障がいフォーラム  
障害のある児童生徒を支援する ICT を活用した合理的配慮
2. 事業種別：共催
3. 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
4. 共 催：瀬戸市教育委員会・瀬戸市発達支援室  
愛知県立大学生涯発達研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月28日（木） 14：00～16：30
6. 会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講 師：近藤 武夫 氏（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）
8. 参加者数：88名（一般・学生）

### 【概 要】

現在のICTを用いて行われている先端科学技術研究センターのプロジェクトが講師から紹介された。具体的にはAIを用いて即時に文字おこしできる技術を用いて、ライブ講義の内容をキャプション付きで示すことができたり、発達障がいや身体障がいのある学生が最先端の技術を用いることで、自身の研究プロジェクトを進展させたりする様子が動画で紹介された。質疑応答では具体的に市町村や学校に合理的配慮を求める際にどのようにアプローチしていけばよいかということや、センターが実施している進学や就労への移行支援とリーダー養成プロジェクト（DO-IT JAPAN）についての質問などが寄せられた。

### 【チラシ】

2021年度  
愛知県立大学 発達障がいフォーラム

**障害のある児童生徒を支援する  
ICTを活用した合理的配慮**

合理的配慮の考え方と  
学校での実際のICTの活用方法について

日時 **10/28** (木) 14:00-16:00 講師 **近藤武夫氏**  
東京大学先端科学技術研究センター 准教授

開催方法 オンライン開催 (Zoom)

申込方法 愛知県立大学地域連携センターのホームページより申し込みをお願いします。  
<https://www.nishi-u.ac.jp/2021/10/28/>

お問い合わせ先：愛知県立大学生涯発達研究所・地域連携センター  
rsmk@hvr.nishi-u.ac.jp

共同主催：愛知県立大学生涯発達研究所・地域連携センター、瀬戸市発達支援室

### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」「愛知県立大学海外協定大学写真展」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」実行委員会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月2日（火）～令和3年11月30日（火）
6. 会場：名古屋市営地下鉄「東山公園」駅コンコース

### 【概要】

国際関係学科の秋の恒例行事「旅の写真展」を開催した。同学科関係者28人が6か国で撮影した、計79点の作品を展示した。2011年に始まった同学科の写真展の累計作品数は計866点に上り、撮影地は世界83の国・地域に達した。

また、今回初めての試みとして、本学の海外協定大学に写真提供を呼びかけ、送ってもらった写真作品を展示するコーナーを併設した。アメリカ、ロシア、中国、ドイツ、ベルギー、オーストラリアの七つの海外協定大学から寄せられた、計19点の作品が展示された。

【写真展の様子】



【協定大学写真コーナー】



【設営した学生たち】



(いずれも2021年11月、東山公園駅にて主催者撮影)

## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：和装本講座
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月3日（水・祝） 14：00～17：00
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 小ホール
7. 講師：林 知左子 氏（西尾市岩瀬文庫 学芸員）
8. 参加者数：18名（一般）

### 【概要】

和装本の歴史や保存についての講義後、和紙を使って和装本づくりのワークショップを開催した。

### 【チラシ】



### 【講座の様子】



### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座 文化人類学者を招く 「時間に支配されないということ」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：田上 恭子（愛知県立大学看護学部看護学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学不安と生の研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月6日（土） 13：30～15：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）  
／愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S201 教室
7. 講師：野村 直樹 氏  
(名古屋市立大学大学院人間文化研究科 特任教授・名誉教授)
8. 参加者数：200名（一般・学生）（オンライン：150名 会場：50名）

### 【概要】

「時間に支配されないということ」をテーマに、文化人類学者の野村直樹氏から、新たな時間概念としての「E系列の時間」を中心に講演がなされた。時間を“区切る”ということ、時間概念の整理、E系列の時間(生きた時間)とは何かなど、時間という奥深く難解なテーマについて、さまざまな興味深い具体例を挙げてのお話や、会場参加者を巻き込んだ実演もあり、とても刺激的な講演であった。

【講座の様子】



【講座の様子】



【講座の様子】

主催：不安と生の研究会  
2021年度 愛知県立大学公開講座

# 時間には支配されないということ

講師 野村直樹 氏

野村直樹氏は文化人類学者として、時間や時間意識について、著書に『不安と生』を著し、広く知られるようになった。本講座は、その著書『不安と生』をテーマとし、時間を「区切る」ということ、時間概念の整理、E系列の時間(生きた時間)とは何かなど、時間という奥深く難解なテーマについて、さまざまな興味深い具体例を挙げてのお話や、会場参加者を巻き込んだ実演もあり、とても刺激的な講演であった。

11月6日(土) 13:30-15:30 愛知県立大学長久手キャンパス講堂(L棟)  
参加費 定額500円(学生500円) ※参加費無料/定額500円(申込種別0921501)19時まで



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：令和3年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月20日（土） 16：00～18：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）／サテライトキャンパス
7. 講師：石橋 悠人 氏（中央大学文学部 教授）
8. 参加者数：35名（一般・学生）（オンライン：17名 会場：18名）

### 【概要】

世界各地で存在していた多様な時間概念・習慣が「均質」「普遍的」な時間の体系に移行するプロセスを、多数の植民地・影響圏を持ったイギリス帝国の重要性に着目して説き明かす講演が行われた。「時間に取りつかれた」近代イギリス社会での産業革命、鉄道網確立、海洋帝国建設、時報伝達技術の発達などを主因とする時間意識の転換にはじまり、帝国植民地におけるイギリスの時間概念の「文明化」のロジックによる教化・普及とグリニッジ天文台が果たした役割、国際会議などでの世界標準時の成立・定着過程が次々と考察されていった。

### 【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業

**2021年度 第1回愛知県立大学世界史セミナー**  
**時間の帝国**  
 —近代イギリス社会とグリニッジ標準時の形成—

10世紀イギリスで日蝕時、地磁場の異常や海嘯被害の拡大の中で、時鐘の設置や時刻の掌握が求められ、これに呼応して君主主義儀制の改良により、社会全体で正確な標準時の共有が図られました。植民地でも学者、宮廷、現地官庁から、ヨーロッパの時間概念が制度を積極的に導入しました。

本講演では、このようなイギリス独自の「時間改革」の意味やその意義について、グリニッジ標準時の誕生について論じていきます。

講師 石橋 悠人 氏  
 （中央大学文学部 教授）

日時 2021年11月20日(土)16:00~18:00  
 場所 ①愛知県立大学サテライトキャンパス（定員30名）  
 名古屋市中区名駅4丁目4-38  
 愛知県産業育成センター「ロイヤルあいち」15階  
 ②オンライン（Zoomウェビナー）

参加費無料

【申し込み】お申し込みの旨で返信いたします。  
 ※参加費無料、申込書は不要です。  
 ①愛知県立大学 地域連携センター 制作システム  
<https://www.aichi-u.ac.jp/teko/>  
 ②FAX 「世界史セミナー申し込み」 「名古屋駅前1」  
 「電話番号」 「FAX番号」を記載し、  
 052-734-1104 宛てにFAXしてください。

【問い合わせ】  
 愛知県立大学 地域連携センター 企画課 企画係  
 〒466-8602 愛知県名古屋市中区名駅1-1-1  
 メール: [teko@teko.aichi-u.ac.jp](mailto:teko@teko.aichi-u.ac.jp)

主催：愛知県立大学（世界史研究会、地域連携センター）

【講座の様子】



【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：非正規滞在 仮放免者の声を聞く—日本の入管制度を問う—
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 かほり（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
4. 共催：支援団体 START、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月24日（水） 14：00～16：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）  
／愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール
7. 講師：鳥井 一平 氏（NPO 移住連 代表）
8. 参加者数：60名（一般・学生）（オンライン：21名 会場：39名）

### 【概要】

第一部は基調講演として、NPO 移住連代表の鳥井氏に講演いただいた。

第二部は「当事者の声を聞く」と題し、支援団体 START に参加する本学学生司会のもと、東海地区在住の非正規滞在・仮放免者の方のお話を伺った。

### 【講座の様子（第一部）】



### 【チラシ】

**非正規滞在  
仮放免者の声を聞く**  
～日本の入管制度を問う～

受講料 **無料**

日程  
2021年11月24日(水)  
●14:00～16:30

鳥井一平さん

基調講演講師 鳥井一平さん (NPO移住連代表)

当事者の声を聞く 東海地区在住の非正規滞在・仮放免者たち

会場 愛知県立大学長久手キャンパス  
多目的ホール(60名)/オンライン

「多文化共生」が日本社会の課題とされる一方で、「非正規滞在者」の処遇が大きな課題となっています。入管の「裁量」とされる無期限の取留、そこでの処遇、さらには仮放免者の生活保障の問題など、課題は多くあります。「多文化共生」を考える上で、なぜ「非正規滞在者」および仮放免者の問題を考える必要があるのか？ かれらもまた日本社会に生きる一員であることの認識からはじめ、私たちはこれらの問題にどう向き合うべきなのかを考えたいと思います。基調講演に鳥井一平さん(移住連代表)その後、仮放免者たちの声を支援団体STARTに参加する本学学生たちの司会で聞きたいと思います。

### 【講座の様子（第二部）】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：被災資料レスキュー方法を実践的に学ぶ
2. 事業種別：共催
3. 申請者：大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月24日（水） 14:00～17:00
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201教室
7. 講師：天野 真志 氏（国立歴史民俗博物館 特任准教授）
8. 参加者数：97名（一般・学生）

### 【概要】

前半（第1部）は水損資料レスキューの様子をスライドで示して要点を概説した座学的な講演で、後半（第2部）は実際の水損資料に模したものを会場で提示し、そのレスキュー方法をめぐって講座参加者と携帯アプリを通じて議論を行いつつ、手わざをスクリーンに示して解説するというものだった。そして最後に、全体にわたる質疑がなされ、災害時に人命にかかわることが最優先されるのは当然であるが、同時に未指定文化財を含めた文化資料のレスキューの行われることも重要であり、また専門家でなくともレスキューに参加することが求められており、若い学生の方々にもぜひ関わってほしいことなどが提起され、盛況なうちに講座は終了した。

### 【チラシ】

参加費無料

愛知県立大学 公開講座

## 被災資料のレスキュー方法 を実践的に学ぶ

毎年このように起こる水害・土砂災害により浸水された歴史文化資料をいかにレスキューするかを悩ましている方々へ、具体的な手法について実践的に学びます。

**日時** 2021年11月24日（水）  
14:00～17:00

**場所** 長久手キャンパスS201（定員100名）

**講師** 天野 真志 氏  
（国立歴史民俗博物館 特任准教授）

**方法** 本学地域連携センターウェブサイト（<https://www.buraidai-pu.ac.jp/tenkei/>）にアクセスいただき、「被災資料のレスキュー方法を実践的に学ぶ」より所定の参加フォームに名称をご入力ください。

**参加費** 無料

**問い合わせ先** 愛知県立大学 地域連携センター  
TEL 0565-70-8843 FAX 0561-94-1104  
E-mail: tenkei@buraidai-pu.ac.jp

QRコード

リニモ「愛・お徳線」社会福祉院 地下駅直上部分  
の乗降券売場の最寄り駅はウェブサイトでご確認ください。

愛知県立大学  
日本文化学部 地域連携センター  
愛知県立大学 地域連携センター

### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：第4回 国際セミナー 2021年、世界の展望
2. 事業種別：主催
3. 申請者：奥野 良知  
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月3日(金) 18:30~20:30
6. 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
7. 講師：鈴木 隆 (愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授)  
加藤 直人 氏 (中日新聞・東京新聞 論説委員)  
三牧 聖子 氏 (高崎経済大学経済学部 准教授)
8. 司会：奥野 良知  
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
9. 参加者数：68名 (一般・学生)

### 【概要】

2020年の世界の回顧と2021年の世界の展望について、3名の講師がそれぞれの専門分野から、米国と中国の各国政治、及び米中関係の動向を中心に報告を行った。

### 【チラシ】

愛知県立大学  
Gifu Prefecture University

## 第4回 国際セミナー 2021年、世界の展望

2020年の世界の回顧と2021年の世界の展望について、米国と中国の各国政治、及び米中関係の動向を中心に報告と質疑応答を行います。

力の優劣の片鱗—香港問題が影響とす中台関係  
加藤 直人 氏 (中日新聞・東京新聞 論説委員)

米中の体制競争?—揺らぐアメリカ民主主義  
三牧 聖子 氏 (高崎経済大学経済学部 准教授)

中国市民は「世界」をどう見ているのか?  
—近年の対外認識と「国民感情」  
鈴木 隆 (愛知県立大学外国語学部 准教授)

司会：奥野良知 (愛知県立大学外国語学部 教授) (直通は入れない場合があります)

【日時】2021年12月3日(金) 18:30~20:30  
【開催方法】ZoomによるWeb配信  
※インターネットをご利用いただける環境が揃えればご参加いただけます。  
【申込】愛知県立大学 地域連携センターWebサイトにアクセスし、「第4回 国際セミナー」ページからお申込みください。  
【参加費】無料

主催：愛知県立大学地域連携センター  
【問い合わせ】  
愛知県立大学 〒480-1198  
〒480-1198 愛知県立大学 地域連携センター 502室  
TEL: 0562-53-1331 FAX: 0562-53-1334

### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：新旧大陸文明遭遇の光と影：征服500年/独立200年のメキシコから未来への提言
2. 事業種別：主催
3. 申請者：谷口 智子  
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月11日(土) 14:00~17:40
6. 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
7. 講師：杉山 三郎 (愛知県立大学名誉教授、アリゾナ州立大学研究教授)  
レオナルド・ロペス・ルハン氏  
(メキシコ国立人類学歴史学研究所、アステカ大神殿プロジェクト団長)  
山本 太郎 氏 (長崎大学熱帯医学研究所 教授)  
大越 翼 氏 (京都外国語大学外国語学部 教授)  
白河 宗利 (愛知県立芸術大学美術学部 准教授)  
メルバ・プリーア 閣下 (駐日メキシコ大使)
8. 司会：谷口 智子  
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)  
千葉 裕太 (南山大学外国語学部 講師)
9. 参加者数：91名 (一般・学生)

### 【講座の様子】



### 【チラシ】

## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：インドネシア現地経済事情講習会
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月17日（金） 18：30～20：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：松井 和久 氏（愛知県立大学客員共同研究員）
9. 参加者数：102名（一般・学生）

### 【概要】

経済成長著しいインドネシアと「ものづくり県」愛知の関係は深く、企業の関心は高い。インドネシアの最新政治経済事情をわかりやすく解説した。

### 【チラシ】



愛知県立大学 公開講座

インドネシア現地経済事情講習会  
新型コロナウイルス禍でのインドネシア経済  
と外国投資動向

日時 2021年12月17日（金）  
18:30～20:30

形式 オンライン開催（Zoomミーティング）  
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。

講師 愛知県立大学 客員共同研究員  
元JETROアジア経済研究所主任研究員  
松井和久氏

■ 定員超過 | 2021年12月14日（火）まで  
■ 申込方法 | いずれかの方法での申込みください。  
① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム  
<http://www.bur.aichi-u.ac.jp/renkei/>  
② メール  
メールタイトルを「インドネシア現地経済事情講習会」とし、  
氏名（※のりがなし）、メールアドレスを記載して、  
[renkei@bur.aichi-u.ac.jp](mailto:renkei@bur.aichi-u.ac.jp)あてに送信してください。

【問い合わせ】  
愛知県立大学 学術情報課 研究支援・地域連携課  
〒480-1198 愛知県長久手市茶ヶ畑1522番3  
メール：[renkei@bur.aichi-u.ac.jp](mailto:renkei@bur.aichi-u.ac.jp)

### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：「愛知県における医療通訳に関する調査」オンライン報告会
2. 事業種別：共催
3. 申請者：糸魚川 美樹  
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 准教授)
4. 共催：愛知県立大学医療通訳研究グループ、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月18日(土) 14:00~16:00
6. 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
7. 参加者数：62名

### 【概要】

2019年度、2020年度学長特別教員研究費による学部間連携・産学公連携の研究として実施した、愛知県における外国人診療及び医療通訳の利用に関するアンケート調査、インタビュー調査の結果のオンライン報告会を開催。本学4学部と愛知県多文化共生推進室、京都大学との連携で計10名の研究グループを立ち上げ、医療機関(医師、看護師、助産師、保健師、窓口スタッフ等)、医療通訳者、患者等に対する調査を実施し、それぞれの専門分野から調査結果を分析し報告した。

### 【講座の様子】



### 【チラシ】

愛知県立大学  
2019年度、2020年度愛知県立大学学長特別教員研究費課題研究

# 「愛知県における医療通訳に関する調査」 オンライン報告会

愛知県が運営するあいち医療通訳システムの利用者(医療機関、患者等)及び通訳登録者に2019年度、2020年度に実施した調査の公開報告会を開催します。

**2021.12.18(土) 14:00~16:00** 参加費 無料

■ オンライン開催 (Zoom ウェビナー) ※参加の登録はありです。

プログラム

① あいさつ、研究の概要説明 ② あいち医療通訳システムの実績 ③ 調査結果報告 ④ 総括

申込先: 愛知県立大学地域連携センター  
WEBサイト (<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/index.html>) にアクセスいただき、特設ページよりお申込みください。  
申込締切: 12月15日(水)

愛知県立大学(医療通訳研究グループ、地域連携センター)  
愛知県立大学 研究支援・地域連携課 E-mail: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：インドネシア語講座（初～中級）
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和4年1月25日（火）～28日（金） 各日 18：30～20：30
6. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
7. 講師：高地 薫氏  
(神田外語大学外国語学部専任講師・愛知県立大学客員共同研究員)
8. 参加者数：28名（一般）

### 【概要】

インドネシア語の構造についての最低限の知識を、例文練習で無駄なく学べるよう配慮された4日連続の講座で、「限られた時間でインドネシア語の全体感を学ぶことができた」と受講者にも好評であった。

### 【チラシ】

愛知県立大学 公開講座

### インドネシア語講座(初～中級)

インドネシア語の構造についての最低限の知識を、例文練習で無駄なく学びます。  
取っ付きにくいインドネシア・日本語辞典を使えるようにし、現地生活を学びの場に変えさせることが、この講座の目標です。  
既習者・リピーターにも配慮したカリキュラムになっています。

日時 令和4年1月25日(火)～28日(金)  
18:30～20:30 ※4日連続の集中講座です。

場所 オンライン (Zoom) 開催  
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。  
PDF化したテキストを準備します。

講師 高地 薫氏  
神田外語大学 外国語学部 専任講師・愛知県立大学 客員共同研究員

■ 募集期間 | 2022年1月21日(金)まで  
■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。  
① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム  
<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>  
② メール  
メールアドレスを「インドネシア語講座」とし、  
氏名(ふりがな)、メールアドレスを記載して、  
[renkei@bur.aichi-pu.ac.jp](mailto:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp)宛てに送信してください。

【問い合わせ】  
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課  
〒480-1198 愛知県長久手市袋ヶ谷1522番3  
メール: [renkei@bur.aichi-pu.ac.jp](mailto:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp)

### 【講座の様子】





## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：令和3年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和4年2月19日（土） 16：00～18：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：今野 元 氏  
（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 教授）
8. 参加者数：88名（一般）

### 【概要】

ドイツ帝国成立（1871年）以前のドイツの国家形態の一例としてのドイツ連邦を再評価し、かつエステルライヒ（オーストリア）がドイツ史上果たした大きな役割を説き明かす講演が行われた。ドイツ連邦をめぐる様々な学説史を概括したうえで、神聖ローマ帝国の国制、フランス革命による神聖ローマ帝国の崩壊、ナポレオンの主導で結成されたライン同盟、メッテルニヒの主導で設立された国家連合としてのドイツ連邦、ドイツ連邦の連邦国家化への動き、ドイツ連邦の解体とドイツ帝国の成立過程を次々と考察していき、結論としてドイツ連邦を国際協調・多民族共存とナショナリズムの間の中庸、近世的要素と近代的要素との共存を求める試みとして位置づけた。

### 【チラシ】

### 【講座の様子】



## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：第8回 日本外国人・留学生バドミントン大会
2. 事業種別：共催
3. 申請者：湯 海鵬  
(愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授)
4. 共 催：CBC、愛知県立大学バドミントン研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和4年3月27日(日) 9:00~18:00
6. 会 場：長久手キャンパス 体育館
7. 参加者数：計95名  
(選手74名(学生17名・一般57名)、見学者21名)

### 【概要】

受付にて全員について検温、体調の聞き取りを行い、参加者の健康状態を把握した上、試合を開催した。大会中に、本人の試合以外の時間に、マスク付けの徹底的措置をとった。

第8回目、3年ぶりの開催は、参加者から大会の参加と再会の喜びが伺えた。各5種目における3クラス(上、中、初)の試合を行い、バドミントンのプレーを通じて、留学生や外国人、日本人の間で深い交流ができ、この中戦禍の世の中で、平和な日本でスポーツ文化の享受、健康づくりと国際交流ができたことが、非常に貴重な時間となった。

### 【大会の様子】

